



2022 年度  
第 18 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

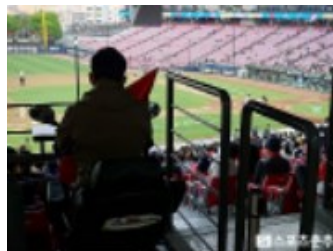
体育市民連帯コラム  
学生選手とは誰か？  
学校運動部文化と  
学生選手の理解



チョン・ジソク  
太極マークつけられない…  
体育会、  
強化訓練除外審議委開催



障害者差別と指摘された  
KIAの驚くべき変身…  
言葉ではなく行動で  
障害者差別撤廃に乗り出し



政治的報復の犠牲者？  
ロシアに抑留された  
WNBA スターは  
いつ解放されるのか。



スポーツ倫理センター  
同性間セクハラ  
加害者に懲戒要請



大韓民国スポーツの  
根本的変化を  
皆さんと共に  
作って行きたいです  
体育市民連帯と共に  
していただけますか？



## 01 体育市民連帯コラム イム・ヨンソク体育市民連帯執行委員、忠北大学校教授 学生選手とは誰か？ 学校運動部文化と学生選手の理解

文化は集団と集団を区分する生活様式の塵払いだ。言葉、文、行動、意識、ルール、相互作用方式、建築物等物質的、精神的、象徴的行為（慣習を含む）。文化は一定の社会の範囲の中で人々が習得し生産し共有する知識と行為を含む（シン・ギョンリム、チャン・ヨンジプ、趙ヨンダル、キム・ナムソン他、2003）。文化的に規定された概念は、個人、グループ、団体ほとんどの行動に影響を及ぼす。文化は集団内で「すること」と「しないこと」を区分する基準（standard）として作用する。したがって、集団、集団に属している個人の理解のためには、彼らが属している集団の文化を理解することは必須だ。

### 「学生が勉強する。選手が運動する。」

当然のようだ。当然なことはいつも正当なのか。大韓民国の生徒の大半は、勉強のために学校や塾で大半の時間を過ごす。より良い学校、職場に入るために他人より長く座っていることを選択する。反面、選手は運動ばかりしている。運動を中心に宿舍と運動場で一日の大部分を過ごす。運動さえすれば上級学校への進学も職業も手に入れることができるからだからだ。

私たちは学生選手を良く知っているし、あまり知らないこともある。学校という共同体の中で一緒に生活しているので知っていると言うべきか？しかし、学生選手と彼らが属している運動部文化に対する理解は意外と足りない。ある意味では、今後扱っていく学生と運動選手に対する区分についてさえ、私たちは無知だったり関心がないと言える。

2021年大韓体育会によると、大韓民国には105,626人の学生選手が存在する。彼らの大半は学校運動部に属する集団だ。彼らは公式的に学生選手と呼ばれる。学生選手は大韓体育会傘下団体に選手登録と同時に公式的に学校運動部に属する選手になる。彼らは良い運動実績を通じて上級学校、プロ、実業チームに行こうと思う。学生選手の大半は専門選手になることを好むが、自分の希望を果たせない場合が多い。プロや実業チームへの入門の道は限られているからだ。

例えば、2021年大韓体育会選手登録基準高等学校野球部学生選手は計4,519人だ。学年（高校3年、大学4年）を根拠にした学年当たりの選手を区分すれば、高校（1,055人）、大学（338.5人）学年ごとの学生選手数が推算可能だ。これを基準に推論してみると、高校で大学に進学可能な野球部の学生選手の割合は32%（338.5人）に過ぎない。2/3の学生選手は運動をやめなければならない。KBO（Korea Baseball Organization）が毎年100人の新人選手を選抜することを考慮すれば、高校、大学でプロ進出が可能な割合は9.4%に落ちる。

ほとんど運動をやめなければならない状況で、「学生」+「選手」はなぜ運動だけするのか。学生選手を完全に理解するためには、彼らの人生、文化、そして教育に対する理解が必要だ。学校に通いながらも選手、運動選手、体育特技者、運動部と呼ばれていた呼称は、彼らが学生であるにもかかわらず、学生であることを示すことができなかった。専門運動選手と同じように運動が主になった日常を生きてきたからだ。学生でありながら学生ではない名前と呼ばれた人たち。学校運動部に属した彼らに対する呼称を「学生選手」という新しい名称で議論したのは2000年代初めだ。米国で「student athlete」という名称

を直訳したもので、使用当初はぎこちなく不慣れな用語だった。約20年経った今、一般化された名称として使われている。

学生選手は「学生」と「選手」の合成語だ。彼らには「学生」と「選手」という業と「勉強」と「運動」という役割がある。学生選手は2つの業に応じた役割を遂行しなければならない。しかし、彼らは運動ばかりしている。勉強成績とは関係なく上級学校への進学が可能だからだ。運動実績だけで職業選手というアップを続けることができるからだ。学生選手にとって勉強は関心の対象ではない。

このような学校運動部の「運動中心」風土は1972年施行された「体育特技生制度」から始まる。体育特技生制度は「体育に特別な素質を持った学生たちを発掘・育成するために上級学校入学時に特例を認める制度」と定義できる。小・中・高・大学に至る優秀選手養成体制の確立を通じて競技力を持続的に向上・維持し、国際大会での優秀な成績を出したいと思う。有能な体育指導者養成はおまけだ。1973年兵役特例法導入、1974年褒賞金制度新設、1984年国軍体育部隊が創設された。運動さえうまくやれば、上級学校への進学も、経済力も、名誉も可能になったのだ。体育特技生制度は2022年まで一部改正はあったが、基本的な枠組みは維持している。上級学校進学に関する変化の様相を分析すると、〈表1〉のようになる。

〈表1〉 時期別体育特技者大学入学選考方式の変化(リュ・テホ、2004、P.29)

区分	1996年以前	1997～1999年	2000年以後
主管	国立教育評価院	大学自律	大学自律
基準	入賞実績者 (4位以内)	大学自律	大学自律
志望	同一系統及び 他系統志願可能	同一系統及び 他系統志願可能	同一系統限定、 他系統前科禁止

大学入試でも学生選手の学業選択の自律性は制限される。2000年以降からは、同一系入学として大学入学が制限された。これは学生選手の不足した学力を補充するための目的で施行されたが、学生選手の学業選択権を初めから封鎖する政策と評価される。

運動実績中心、競技力中心の運動部運営の結果は、学校運動部、職場運動部、国家代表チームを問わず、大部分の分野で多様な副作用として現れた。2000年以降、エリート体育と関連した主要事件と政策を見てみると、表2の通りだ。

〈表2〉 エリートスポーツ主要事件(2000～2021年) (イム・ヨンソク、ホン・ドクギ、2021)

番号	年度	範疇	主要事件
1	2000	学習権	チャン・ヒジン水泳選手、国家代表剥奪
2	2003	人権侵害	天安小学校サッカー部合宿所火災
		暴力	高校生レスラー、金ジョンドゥ選手死亡
3	2004	暴力	ショートトラック国家代表選手暴行事件
4	2005	暴力	LG火災、金ヨン Chol監督の選手暴行
5	2006	実態調査	人権委、小学生選手の人権実態調査
6	2007	セクハラ	ウリ銀行パク・ミョンス監督選手セクハラ
		学習権	KBS時事企画サム「すみません、運動部です」放映

		性暴力	KBS 時事企画サム「スポーツと性暴力に対する人権報告書」放映
7	2008	学習権	学生選手最低学力制導入妥当性研究(体育科院)
		実態調査	人権委、中・高校生選手の人権状況実態調査
8	2009	実態調査	人権委、中途脱落運動選手の人権状況実態調査
		暴力	バレーボール国家代表チームのコーチ選手暴行
9	2010	実態調査	人権委、大学運動選手の人権実態調査
10	2016	入学不正	ジョン・ユラ大学不正入学、学事管理
11	2017	MeToo	テニスのキム・ウンヒ、柔道のシン・ユヨン、 リズム体操のイ・ギョンヒコーチの性暴力事件など
12	2018	性暴力	ショートトラック国家代表コーチ性暴行
13	2019	人権侵害	スポーツ革新委員会発足
		実態調査	人権委、運動選手の人権状況全数調査
14	2020	暴力	「苛酷行為」故崔スクヒョン選手の死
15	2021	暴力	バレーボール選手イ・ジェヨン・イ・ダヨン姉妹「校内暴力」

学校運動部、そしてプロおよび代表チームまで専門体育をめぐる多様な問題は現在進行形だ。このような学生選手たちに対する問題はどのように、なぜ持続するのか。学校運動部の脈絡的構造を通じて説明が可能だ。

運動部を形成している3つの主体間の反人権的、反教育的連帯に関する話だ。管理者として学校と教育庁は名誉のため。供給者として運動部の指導者は生計維持のため。需要者として保護者と学生選手は上級学校進学のため。より良い試合実績を望む。

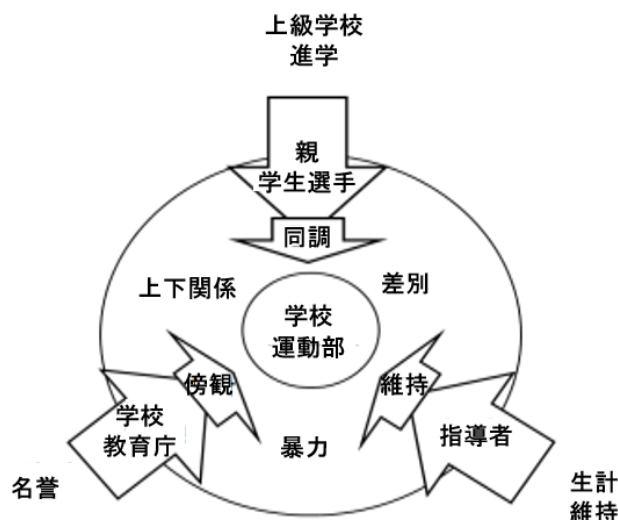
それぞれの目的のために運動部の位階、差別、暴力文化を同調、傍観、維持している。彼らにとって学生選手たちの学業は関心の対象ではない。

このような脈絡で学校運動部は彼らだけの独特な文化を形成している。運動部だけの「島」と「教室島」に代弁される2つの島文化だ。運動部は学校という教育的空間に位置しながらも、教育目的よりは訓練を主な目的に運営される。まるで「孤立した島」のように一般学生との交流がなく、運動部だけの関係形成が行われる。学則（制服、授業参加など）から比較的自由である。外部と断絶した中で運動部だけの関係形成は運動部指導者→先輩→後輩につながる位階構造を形成する。これは指導者→選手、先輩→後輩に引き継がれ再生産される。これはバンカー・メンタリティ (Bunker mentality) という概念で説明できる。まるで特殊部隊の部隊員と類似した強力な結束力を持ち、自分を文化的、身体的に外部世界と隔離させ、自分と外部人を別の存在と認識する。

島のような運動部で生活した結果は教室にもつながる。運動さえすれば上級学校への進学、軍免除、就職が可能な環境で運動が主になった日常を送っている学生選手。彼らには学業より運動が重要にならざるを得ない。運動部に属する学生選手の間では「多数」と「少数」が存在する。多数の「しない者」と少数の「しようとする者」である。少数の（勉強を）しようとする者の意志は、多数の「しない者」の主張によって大部分消滅する。このような直接・間接的集団の影響を同年代圧力(peer pressure)という。同年代の圧力は集団内の個人あるいはそれ以上の人員に直接・間接的に肯定的・否定的な影響を与えかねない。

2つの文化的島で学校生活をする学生選手の日常は、運動部指導者によってほとんど決まる。彼らには運動か勉強かを選択できる選択権はない。

要するに、学生と選手の身分とそれに伴う学業と運動という業のある学生選手。彼らは2つの島で運動中心の日常を過ごさなければならない。多様な問題が発生するが「運動だけ」するよう多様な制度と恩恵が



提供されている。体育特技生制度が施行されて50年。ただ運動だけの一本道 (single line) を歩んできた結果は惨憺たるものだ。運動部と関連した学習権の欠如、暴力、性暴力事件は一々羅列さえ難しい。さらに大きな問題は、運動をやめる時点から発生する。運動部だけの制限された人生と関係形成は引退後、人生を生きていくのに制約として作用する。「国威宣揚」という名目の下で選択しなければならなかった一本道に対する責任は全て学生選手本人だ。

多様な問題が発生するや「学業」を重要な解決案として提示している。先に提示した多様な問題を防止するために教育部は新しい対策を提示した。核心は「最低学力制」とそれともなう「出場制限」だ。正規授業の義務化、徹底した出欠管理で学生選手の学業正常化を図るという趣旨だ。学業基準の未達による出場制限はおまけだ。これを通じて運動部以外の人生を生きていくのに必要な最小限の学力を保障するという趣旨だ。しかし、現場の反発は激しい。「なぜ」勉強をしなければならないのかに対する反発だ。上級学校への進学で彼らに必要なのは学業ではなく運動成績だからだ。

過去50年間、韓国社会は「育成」の観点から学生選手と関連した制度を運営してきた。運動と勉強を並行するのに特別な「管理」の対象として学生選手を認知した結果だ。「運動だけ」から「勉強も」するように「統制」するという論理だ。運動ばかりしてきた学生選手たちの立場では、勉強もしなければならない現実はまだ別の負担だ。

彼らの教育で持たなければならない重要な観点は「特別な管理の対象」ではなく、学生と選手の2つの業を並行するのに支援と助けが必要な「特別な存在」という認識の転換だ。特に学生選手教育は学力に限定できない。授業を通じて運動部以外の関係を形成し交流する方法を学ぶ。これらの授業は自分と他人の権利を知り疎通する方法を知っていく過程だ。運動部文化の是非を判断する基準として働くことができる。学業能力の向上は必須的に伴う。したがって、彼らの教育は自力の観点からアプローチする必要がある。自ら自分の未来を決定し、計画して実行できる力 (empowerment) を意味する。このためには、彼



らと彼らを取り囲んでいる多様な脈絡(文化)とともに、学生選手を完全に理解しようとする試みが必要だ。学生選手2つの役割が彼らの経歴(dual career)として完全に保障される日を期待する。

## 02 聯合ニュース 2022.05.04

### チョン・ジソク太極マークつけられない…体育会、強化訓練除外審議委開催



ガールフレンド暴行疑惑で物議をかもした男子バレーボール特級スターチョン・ジソク(27、大韓航空)がバレーボール代表チームに乗船できない見通しだ。

大韓体育会の関係者は4日、聯合ニュースとの通話で「まもなく代表選手強化訓練除外審議委員会を開き、チョン・ジソク問題を議論する予定」と明らかにした。

名称からも分かるように、強化訓練除外審議委員会は体育会が種目別国家代表として承認した選手のうち、社会的に物議をかもした選手が同僚代表選手と一緒に練習できないよう最終的に決定する会議だ。体育会はず、大韓民国バレーボール協会から国家代表承認要請を受けられなかったという前日の発表とは異なり、4月末、チョン・ジソクを含む男子バレーボール代表選手を国家代表として承認したと内容を訂正した。

そして、「種目団体別に国家代表承認要請の件が多く、体育会が一々彼らの国家代表資格を選別できなかった」とし、「最近、チョン・ジソクの不幸事が再び取り上げられ、これを再議論することにした」と付け加えた。

体育会関係者は「強化訓練除外審議委員会は国家代表承認後に開かれる会議なので手続き上問題はない」と説明した。

体育会は(性)暴力・殴打など人権侵害で体育界が国民の指弾を受けると、このような問題で論難の中心に立った選手が太極マークをつける資格があるかどうかを再び議論する機構である強化訓練除外審議委員会を2年前に設立した。

委員は忠清北道鎮川の国家代表選手村長、体育会関係者など内部人材と法律専門家、スポーツ関連従事者など9人で構成される。

最近、強化訓練除外審議委員会はテコンドー、ショートトラックなどで問題のある代表選手を選び出したりもした。

体育会関係者は「国家代表選手たちに技量だけでなく厳格な道徳性が必要な時代が来た」として「このような基準で審議委でチョン・ジソク問題を扱う予定」と伝えた。

バレーボール協会は7月にソウルで開かれる2022国際バレーボール連盟(FIVB)チャレンジカップ男子大会に出場する代表選手としてチョン・ジソクを抜擢したと知られた。最終リストはまだ公開されていない。チョン・ジソクは昨年9月、デート暴力と不法撮影などに関する元彼女の告訴で司法機関の調査を受けた。以後、チョン・ジソクは告訴人とすべての法的争点で合意し、合意書と告訴取り下げ書を警察に昨年10月に提出した。

検察はデート暴力件と関連してチョン・ジソクに疑惑が認められるが、色々な状況を考慮して被疑者を裁判に渡さない不起訴処分を意味する起訴猶予を処分した。

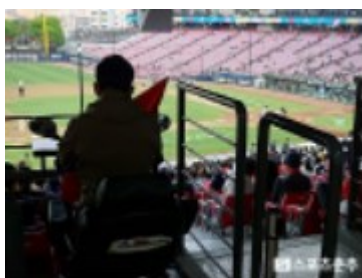
しかし、財物損壊の疑いは告訴人の意思とは関係なく、捜査を続けて検察に送致した。

プロバレーボールを管掌する韓国バレーボール連盟は賞罰委員会を開き、チョン・ジソクに連盟賞罰規定10条1項5号などにより罰金500万ウォンを賦課し、大韓航空はこれとは別に正規リーグ2ラウンドの残り試合出場処分を下した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220504099500007?input=1195m>

### 03 スポーツ春秋 2022.05.02

#### 「障害者差別」と指摘された KIA の驚くべき変身… 「言葉ではなく行動で『障害者差別撤廃』に乗り出した」



「役職員に障害者人権教育を実施すること」 1月29日、KIA タイガースが国家人権委員会から受けた勧告内容だ。このような勧告を受けたのは、KIA が障害者を差別したためだ。

昨年から行われた人権委の調査結果によると、KIA は COVID-19 期間にオンライン前売りを通じてのみチケットを販売した。人権委が調査に着手した後、韓国野球委員会 (KBO) が「障害者野球ファンに限り現場チケット前売りを許容せよ」とマニュアルを変更し各球団に配布したが、KIA はこれに従わなかった。

だからといってオンライン前売り用スマートフォンアプリケーション(アプリ)をよく備えているわけでもなかった。2020年10月20日、光州起亜チャンピオンズフィールドで KIA 試合を見に行った肢体障害者 A 氏は球場前で「現場前売りができない」という球場職員の話を聞いて、直ちにオンライン前売り用アプリを始めた。だが、何度の試みにもついに前売りに失敗した。

スマートフォンアプリの使用に困難を訴えたのは、肢体不自由な人だけではなく、視覚障害者も同じだった。オンライン前売りだけでチケット購買が可能な状況で障害者に極悪の難易度を誇る KIA スマートフォンアプリは「野球場に来るな」という警告文に他ならなかった。

#### 人権委「KIA と KBO は障害者の野球観戦権を保障せよ」

人権委の調査によると、KIA のオンラインチケット前売りサイトには「現場購入不可」という文句が書かれていただけで、「障害者に限って例外的に現場販売をする」とは全く見られなかった。

1月29日、人権委は長い調査の末、KIA 球団社長に「障害者が現場で入場券を購入できるよう窓口を開設すること」と「役職員に障害認識改善教育を実施すること」を勧告した。

「人権委が勧告をすれば、被陳情機関の勧告に対する反応は勧告に反発し、現場の状況をまともに知らないと言ったり、勧告を受け入れても積極的な態度を見せない場合が多いというケースが多く、KIA もそうではないかと考えていた。」人権委光州事務所の朴ソンフン調査官の話だ。

果たして KIA は、人権委の勧告にどのような反応を見せたのだろうか。KIA は人権委の勧告を積極的に受け入れることを越え、競技観覧に障害者差別がさらにないか確認しようとする努力を見せた。朴調査官の話だ。

事実だった。KIA は人権委の勧告を積極的に受け入れ、2022 シーズン開幕に合わせて障害者現場前売りシステムを再整備した。

KIA マーケティングチームの趙ギヨンプロは「障害者チケット現場前売りシステムを全て再点検した。点検中に既存オンラインチケット前売りサイトには『現場購入不可』という字句だけが書かれており、『障害者に限って例外的に現場販売をする』という案内は書かれていないことを確認した」として「人権委の勧告を積極的に受け入れ前売りサイトに『障害者野球ファンは現場前売りが可能だ』という案内を正確に明記した」と言う。

オンライン前売り用スマートフォンアプリも障害者野球ファンがより楽で、早く利用できるように全体的に手入れをするよう措置を取った。

KIA 関係者は「オンライン前売り用スマートフォンアプリは私たちが作ったものではない。KBO が指定した業者で作って、維持・補修している」としながらも、「KBO に『障害者野球ファンのアプリ満足度を高める特段の対策を講じてほしい』と要請し、KBO から『早く改善する』という回答を得た」と伝えた。

**「勧告をどのように受け入れるか疑問」と言った人権委…しかし、すぐに称賛、「KIA がこのように積極的に勧告を受け入れ、履行計画を樹立するとは思わなかった」**

KIA は「球団役職員に障害認識改善教育を実施せよ」という人権委の勧告も積極的に受け入れることにした。

1月29日、人権委はKIAだけでなくKBOにも「KBOと各球団の広報業務担当者に障害認識改善を含む人権教育を実施せよ」と勧告した。人権委関係者は「KBOと他の球団は『障害認識改善教育』履行に依然として消極的な印象」とし「反面、KIAは『5月内に球団役職員全員が障害認識教育を受ける』と約束するなど履行意志が非常に積極的」と評した。

スポーツ春秋は果たしてKIAが人権委勧告をきちんと履行するかを確認するため、人権委光州事務所のパク・ソンフン調査官とともに突然起亜・チャンピオンズフィールドを訪れた。

スポーツ春秋の現場取材の結果、障害者駐車場のすぐ隣に位置する障害者現場チケット売り場は正常運営されていた。障害者チケットの前売り案内と関連した現場職員教育も確実に行われていた。

KIA マーケティングチームの趙ギヨンプロは「最近障害者移動権と『バリアフリー(Barrier Free、障害のない人生)』問題が 이슈であり、4月20日障害者の日に『始打者』として光州市交通弱者移動支援センターのチョン・ビョンムン院長をお迎えした」とし、「障害者と非障害者の境界を越えてすべての市民が享受しなければならない福祉という意味で始球者としては今月中に光州市福祉健康局長を始球者に選定した」と明らかにした。

考えてみれば、KIA 球団は過去の障害者の日にも障害者を招待して意味のある始球式を行ったりもした。その頻度と誠意で他の球団をリードしていたのも事実だ。

スポーツ春秋と抜き打ち点検に乗り出したパク調査官は「KIA 球団が人権委の勧告を積極的に受け入れ、障害者現場前売りシステムを確実に再整備した。また、障害者ファンのオンラインやモバイルウェブサイトへのアクセス向上も提案したが、球団が積極的に検討した後、KBO に意見を伝えたことが確認された。さらに「障害認識改善教育」履行計画も確実に準備中だと理解している」と説明した。

「障害者差別球団」という汚名を着せられそうになったが、人権委の勧告を積極的に受け入れ、「KBO リーグ『障害者差別撤廃』模範球団」に変身したKIAは、「障害者ファンが現場前売りや試合観戦に不便を感じないよう、すべての部分で細心の注意を払い、引き続き努力する」と誓った。



「人権委の勧告内容は、単にうちの球団だけの問題ではなかった。他の球団もみんな似ていた。何より人権委の調査と関連して無念な面もあり、「事実とは違う」とアピールしたいことも少なくなかった。だが、そのすべての言いたいことと物足りなさを後にしたまま人権委勧告を積極的に受け入れることにしたのは「ただ一人のファンでも満足させなければならないのが私たちの任務」と判断したためだ。これからは野球場を訪れるすべてのファンの足取りを軽く考えない」と趙プロの覚悟だ。

「ロッテ CCTV 査察事件」の実体的真実を明らかにした人権委調査官、8年後に「プロ野球障害者差別調査」を担当

2014年ロッテジャイアンツ球団がCCTVを利用して選手たちを査察・監視したという暴露が出た。これまで一度や二度ではなかったプロ球団の選手監視が水面上に現れた瞬間だった。当時、KBOとロッテはこの事件を隠蔽しようと奔走した。

しかし、そのすべての努力はすべて水の泡となった。人権委が職権で調査し、事件の実体的真実を明らかにしたためだった。人権委の徹底した調査で、ロッテ球団がホテルの協力を得てCCTVを通じて選手たちのプライバシーを監視したという疑惑が事実であることが分かった。

人権委は「CCTVを通じて選手たちを監視したことは個人情報保護法に違反して憲法上、私生活の秘密と個人情報自己決定権を侵害した行為」と規定した後、このような慣行が改善されるようKBO総裁が直接乗り出すことを要求した。

KBOが人権委の要求を受け入れ、当然のようにCCTVで選手のプライバシーを監視していた球団の慣行は一気に根絶された。他のプロスポーツでも慣行のように行われていた「CCTV監視」が姿を消した。

当時、ロッテCCTV査察事件を徹底的に暴いた人権委調査官が、まさに今回KBOとKIA球団を相手に様々な障害者差別是正勧告を引き出したパク・ソンフン調査官だ。

パク調査官は「『障害者差別撤廃の先頭に立ってほしい』という人権委の勧告を積極的に受け入れ、言葉ではなく行動に移行したKIA球団を見て、やはり名門球団は違うと思った」とし、「なぜ人権委が必要なのか、人権委と民間企業が互いの意見を尊重し、韓国社会のために改善を試みた時、どんな肯定的結果を生むのか、もう一度悟ることができた良い機会だった」と話した。

「障害者差別撤廃」のためにKIAを除く他の球団とKBOでも積極的に動いてほしいという願いだ。

出典：<http://www.spochoo.com/news/articleView.html?idxno=101797>

## 04 スポーツ京郷 2022.05.03

政治的報復の犠牲者？ ロシアに抑留されたWNBAスター、ブリトニー・グライナーはいつ解放されるのか。



米女子バスケットボールの看板選手ブリトニー・グライナー（32）はいつロシアから解放されるだろうか。

グライナーは7日、2022シーズン開幕を控えた米女子プロバスケットボール(WNBA)の「痛い指（訳注：大事な人、大切な人の意味）」だ。2013年ドラフトでフェニックス・マーキュリーに入団し、翌年チームをチャンピオンに導き2016リオ五輪、2020東京五輪で米国に金メダルをもたらした看板センターである彼女は現在ロシアに抑留中だ。

WNBA シーズンオフを迎え、ロシアプレミアリーグでしばらくプレーしようとしていたグライナーは、2月中旬モスクワ空港で「麻薬密輸」容疑を受けて逮捕された。彼女の荷物から大麻濃縮液であるハッシュドオイル成分が含まれた電子タバコが出たためだ。

弁解の余地のない不法行為だが、グライナーが逮捕された当時はロシアがウクライナに侵攻した直後、米国主導の下で西側諸国がロシアを相手に大々的な制裁措置を取っていた時期だった。国際スポーツ界でロシアチームと選手に対する大会出場禁止措置が続いた時であり、ロシア政府がグライナーを報復対象にしたという解釈が続いた。彼女がロシア政府が弾圧する同性愛者だという点も浮き彫りになった。グライナーはロシア法により有罪が認められた場合、最高10年の懲役刑を受けることがあるという。

米国「ニューヨークタイムズ」は3日、フェニックスマーキュリーの先週のプレシーズンホーム開幕戦行事の雰囲気を書き、関連ニュースと展望などを伝えた。同紙は「グライナー抑留以後初めて開かれたフェニックスの公式行事で、彼女と関連したいかなる言及もなかった」とし「これは意図的な沈黙だった」と報道した。

WNBA は人種差別、少数者人権保護など各種社会的問題に非常に速く敏感に対応してきた代表的なスポーツリーグだ。警察の逮捕過程で黒人が犠牲になったジョージ・フロイド事件の時、選手たちが直ちに試合ボイコットを宣言したのが代表的な事例だ。

しかし、今回のことには選手たちが皆黙って沈黙を守っている。相手がロシア政府であり、彼らがこの問題を膨らませて大きくするほど、グライナーは政治的交渉でより大きな代価を払うことがあるという判断のためだ。

米国務省は先週、ロシアに3年間滞在していた米海兵隊員が解放されたと発表した。WNBA選手たちは、グライナーが次の番になることを願い、政府の努力に期待をかけている。

詳しい事情が分からないファンは残念でもどかしいだけだ。フェニックスファンは「グライナーがもしNBAの有名スターだったら、もっと注目されたのでは」と不満を爆発させ、早く彼女が自由を求めて帰ってくることを待っている。

出典：[https://sports.khan.co.kr/sports/sk\\_index.html?art\\_id=202205031631013&sec\\_id=530301&pt=mv](https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202205031631013&sec_id=530301&pt=mv)

## 05 聯合ニュース 2022.05.04

### スポーツ倫理センター、同性間セクハラ加害者に懲戒要請



スポーツ倫理センターが同性間にセクハラした加害者に人権を侵害したとし懲戒を要請したと4日伝えた。

スポーツ倫理センターは先月26日、ソウル市西大門区スポーツ倫理センターで審議委員会を開き、A体育会セクハラなど人権侵害事件の被申告人に懲戒要請を議決した。

同性間で発生した言語暴力事件を調査したスポーツ倫理センターは、「一部の容疑が事実であることが明らかになった」とし、「同性間セクハラを人権侵害と認め、懲戒を決定した」と説明した。

また、B種目の指導者が選手に暴力と暴言を振るった事件、C種目の学生部先輩選手が後輩選手を道具を使って暴行した事件などは、事案の深刻性を考慮してすべて捜査依頼することにした。

スポーツ倫理センターが審議委で懲戒要請議決した事件を文化体育観光部に送れば、文体部長官は該当種目団体に議決どおり処分を要求する。

捜査依頼事件はスポーツ倫理センターが担当捜査機関に直接捜査を要請する。

スポーツ倫理センターは今年4月末までに69件の案件を審議・議決した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220504048200007?input=1195m>

## 06 週刊スポーツニュース

果川市関門体育公園サッカー場施設整備推進

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=202205061409247776>

大韓体育会、「品位損傷」《バレーボールチョン・ジソク国家代表資格1年停止》

<https://www.xportsnews.com/article/1573000>

イ・ソクムン「未来型学校体育教育方案」研究サービス推進

[https://www.pressian.com/pages/articles/2022050615103394649?utm\\_source=naver&utm\\_medium=search](https://www.pressian.com/pages/articles/2022050615103394649?utm_source=naver&utm_medium=search)

文体部「杭州アジア大会の延期、体育会と協力してうまく対応する」

<https://www.newsl.kr/articles/?4672462>

慌ただしい体育界、選抜日程・計画、混乱は避けられない

[https://imnews.imbc.com/replay/2022/nwdesk/article/6366313\\_35744.html](https://imnews.imbc.com/replay/2022/nwdesk/article/6366313_35744.html)

「教育活動正常化」…学校現場での体育活動推進

<http://www.joongdo.co.kr/web/view.php?key=20220506010001539>

蔚山市、2022 全国(障害者)体育大会ボランティア募集

[https://newsis.com/view/?id=NISX20220502\\_0001855135&cID=10814&pID=10800](https://newsis.com/view/?id=NISX20220502_0001855135&cID=10814&pID=10800)

杭州アジア大会、電撃延期…体育会「困った」選手たち「当惑」

<https://www.khan.co.kr/sports/sports-general/article/202205062202035>

国民体育振興公団、こどもの日100周年で希望自転車寄付

<https://sports.donga.com/article/all/20220505/113250314/1>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。  
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>